

平成29年3月12日執行 上峰町長選挙公報

上峰町選挙管理委員会

いよいよ実現のとき!

**わくわく
すること
全力で。**

- 中心市街地の再開発を進め道の駅をつくりま
- お年寄りや身体の不自由な方が便利で利用しやすい予約型乗合タクシーを運行します
- 若者に上峰町で活躍してもらうため、雇用創出を図ります



武^{たけ}広^{ひろ}勇^{ゆう}平^{へい}
37歳

- 障がい者グループホームの建設・障がい者ピアサポート拠点整備を進めます
- 子ども子育て支援交付金を活用し、一時預かり保育・病後児保育施設を整備します
- 子育て世代の経済的負担を軽減するために給食費を無償化します
- 特産物の付加価値向上のために加工場をつくりま
- 上峰町のアンテナショップを東京に作ります

8年間の実績

借金(地方債残高) **削減!**
30億円
(平成20年)120億円→(平成27年)90億円

貯金(基金残高) **増加!**
20億円
(平成20年)9000万円→(平成27年)21億円

ふるさと納税 **増収!**
43.7億円
(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

■上峰小、東明館中・高、上智大経済学部経営学科卒業。
■一新塾(14期塾生)、参議院議員秘書等を経て、平成21年上峰町長選挙で初当選(全国最年少)。現在、教育再生首長会議会員、佐賀県東部地区防衛協会会長。**無所属**

◎この選挙公報は候補者から提出された原稿を写真にとって、そのまま印刷したものです。

平成29年3月12日執行 上峰町長選挙公報

上峰町選挙管理委員会

町民と決め 町民と進める 夢いっぱい 上峰大変革

災害に強い町づくり

- 災害に備え、「災害対策避難セット」を全世帯に配布します
- 地震、火災等の予測不能な災害時に迅速に対応できるよう「防災拠点の整備」や「災害備蓄倉庫の充実」を図ります
- 「自治会防災組織の設立の推進」をします

ふるさと納税の町民生活への活用

- 地域ニーズに即したまちづくりを行うために、すべての分野において「即効的」かつ「集中的」にふるさと納税の活用を行います

安心の教育

- 子育て世帯の経済的負担を軽減するため、「小中学校の給食費の減免や無償化」を図ります
- 食の安全と充実した学校給食を提供するため、「給食センターを新設し、直営での運営」を行います
- 子育て世帯の負担を軽減するために、「小中学校入学時に入学祝い金」を支給します
- 子どもの健康障がいやストレス対策など学校生活での不安の解消対策として、「小中学校トイレの完全洋式化」を図ります
- 義務教育9年間の学習指導と生活指導の円滑な接続により、学力および規範意識の向上、中一ギャップの解消などに対応するため、「小中一貫校の新設」を目指します

豊かな高齢者生活

- 地域社会につくされた高齢者に対して支給される「長寿祝い金の充実」を図ります
- 高齢者ドライバーの免許証自主返納サポート事業として、「のらんかいバスの無料バス券の発行」や「タクシー料金の一部負担」等を行います
- 高齢者の活力ある生活の支援のため、医療機関や商店などを結ぶ「生活支援バス」を新たに運行します
- 高齢化社会対策として、「在宅要介護高齢者の全世帯を対象とする紙おむつや尿取りパット等の支給」を行います
- 高齢者の健康増進を目的とした「雇用の場の確保」を推進します

将来を見据えた地域おこし

- バス利用者の利便性を向上させるため、「運行ルートの見直し」や「専用ルートの新設」を行います
- 地元の雇用機会の拡大を促進するため、「企業誘致」を行います
- 「不耕作地の減少を目的とした補助金」の交付を行います
- 地元産業の活性化のため、「後継者育成の支援」を行います
- 人口増加を見据え、「アパート賃料助成金」と「新築住宅の助成金」の制度を創設します

元気な子どもを育てる

- 定住人口の増加と若者の定住促進を図るため、「出生祝い金制度の新設」を行います
- 子どもを育てやすい町づくりを推進するため、「保育園・幼稚園の保育料の大幅な減免」を図ります
- 学童保育の時間延長や病後児童保育に対応するため、「子育て支援センター(児童館)の新設」を行います
- 育児不安や保育負担の軽減など、親子が安心して暮らせる環境を整えるため、「地域保育サポーターの育成」を推進します

ふるさと納税について

ふるさと納税の実態は、そのほとんどが返礼品の高級食材などに費やされ、町外の企業や商店へ税金が流出しているのが現状です。新聞報道では、町民は豊かさを味わっているように伝えられていますが、みなさまは本当に豊かになっていると感じられていますか?上峰町のふるさと納税の実態も、単に予算規模が膨らんだだけで、私たちの実生活には、まったく活用されていないことを、誰も教えてくれてはいません。
鶴田なおきは、絵に描いた餅ではなく、町民の一人ひとりが本当に豊かさを実感できる町へと効率的かつ集中的に「ふるさと納税」を活用していきます。

上峰町のふるさと納税寄付金(収入)に対する返礼品費等(支出)の割合

$$\frac{\text{約35億8千5百万円 (返礼品等支出予算額)}}{\text{約46億円 (寄付金収入予算額)}} = \text{約78\% (支出割合)} \quad \text{出典:平成28年度上峰町予算書}$$

東日本大震災被災地支援で培った見識と38年の豊富な行政経験で誠心誠意取り組みます

町長給料50%削減

鶴田なおき プロフィール

- 上峰小・中学校卒
- S44.3 三養基高校卒
- S48.3 福岡大学経済学部経済学科卒
- S48.5 上峰町役場に奉職
- H23.3 会計管理者兼出納室長を経て定年退職
- H25.6～H27.3 東日本大震災被災地復興支援のため、南三陸町役場にて単身赴任勤務(相続事務、用地買収高台移転団地売買事務に従事)

鶴^{つる}田^だな^なお^おき^き

◎この選挙公報は候補者から提出された原稿を写真にとって、そのまま印刷したものです。

※この選挙公報をよく読んで、自分の考えできれいな一票を投じましょう。

※投票ができる年齢は18歳以上です。

※投票日……平成二十九年三月十二日 午前七時～午後八時

※この選挙公報をよく読んで、自分の考えできれいな一票を投じましょう。

※投票ができる年齢は18歳以上です。

※投票日……平成二十九年三月十二日 午前七時～午後八時